

## 第2学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時  
授業者

### 1 主題名 礼儀の意義

- 2 ねらい 礼儀は相手を人間として尊重する行為であることを理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。

教材名 「マナーは考えなくていいのか」

（出典：「彩の国の道徳」（中学校）『自分をみつめて』県教委）

### 3 主題設定の理由

#### （1）ねらいや指導内容について

「礼儀」は、他者に対するものであり、身に付けておくべき外に表す形であると考えられ、具体的には言葉遣い、態度や動作として表現される。社会生活の秩序を保つために守るべき行動様式であり、長い間に培われた慣習を表すものである。これは、人間関係や社会生活を円滑にするために創り出された優れた文化である。また、礼儀は、立ち居振る舞いが美しいかどうかという美的な問題として考えられてきた面もある。生徒は、物心がつく頃から、家族や地域の大人から挨拶を始め、礼儀を教えられる。教えられ、学ばなければ、礼儀は存続していかないものである。さらに、礼儀は、慣習に支えられているため、文化が違えば同じではなく、合理的に説明することができないことも多いが、長い歴史を通じて培われ伝えられ、大切にされてきたものである。

礼儀の基本は、相手の人格を認め、相手に対して尊敬や感謝などの気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体となって初めてその価値が認められると考えられる。敬愛の気持ちを伝えるために、相互に認められる形が必要である。時と場に応じた適切な言動をとることで、自分と他者の間に認められてきた、その社会固有のほどよい距離を保つことができるのである。礼儀にかなった言動が、互いを結び合わせるものであり、このことが、礼儀が人間の生き方の基本にあると言われるゆえんである。形だけで心が伴っていないと批判され、形ができていたとしても人間尊重の精神がなければ礼は通じないとされる。この場合の礼という語は、他者を敬う態度や振る舞いであり、社会規範をも意味し、内面にある他者を愛する心が現れた礼節をわきまえた行為と考えられている。

指導に当たっては、自身の生活を振り返り、自身と向き合うことを行わせる。そして、本教材を用いた話し合い活動等を通して、自分の考えを明確にし、他者の考えに触れ、多様な考え方や感じ方があることを知り、自分の考えを深めることで、礼儀は相手を人間として尊重する行為であることを理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする心を育てたい。

#### （2）生徒のこれまでの学習状況及び実態について

本学級の生徒は、素直で真面目な生徒が多く、学級での諸活動にも主体的に取り組める生徒が多い。学級での活動や行事を通して個々の利害を超えて協力することの大切さを実感した生徒が多く、人間関係も穏やかで落ち着いたものとなっている。一方で、良くも悪くも集団の中で目立つことを避ける傾向もある。特に道徳科では、自分の本音を言うことに抵抗感があったり、上辺だけの正論（模範的な解答のような）を書いたりする生徒も多く、道徳的価値を深めていくことに難しさを感じることも多かった。そこで、発言や本音を引き出し、多面的・多角的に道徳的価値を深めていくためには、学級内での自己肯定感や自己有用感・発言を受け入れてもらえるという安心感が必

要と考え、日常や行事の中で互いの良いところを見つけ伝え合うことを継続して取り組んできている。道徳科では特に、「傾聴すること」を意識し、1学期には、4人グループや小グループで相手の意見を受け止めること、相槌や体の向きなども意識させてきた。2学期にはグループや学級全体の議論の場で、友達の意見の中から印象に残ったものやそれに対する更なる意見を発言や紙面上に表す指導を継続している。道徳の時間以外にも、道徳コーナーや学級通信上で、自分の発言に級友の意見や感想が返ってくることに對して、喜んだり照れながらもじっくりと読み入ったりする姿も見られるようになった。本時のねらいである「マナー」については、マナーと言う言葉ではないが、相手の立場になって物事を考える大切さや、人に迷惑をかけないようにするといった考えは、実生活での様子から理解はしていると思われる。一方で、いざそのような場になったときに実践できなかつたり、習慣的に教えられてきたことを受け身の姿勢で行っていたりすることが多いと考えられる。そこで本時はすでに大切だと分かっている「マナー」について、友達の意見も交え多面的多角的に考えることで、他者との関わりの中でのマナーについて、深く考え理解し、時と場に応じて主体的に適切な言動がとれるような意欲を育くむよう指導していきたい。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、平成18年に新聞記事として掲載された実話である。記事は、飛行機の中で起こったマナーを考えずに携帯電話を使用した乗客と客室乗務員のやりとりから始まる。そして、同じく新聞記事として平成20年に紹介された飛行機内での携帯電話に使い方に関するコラムとともに飛行機内の携帯電話の使い方を技術の進歩とともに読み手に訴えかける内容となっている。

携帯電話からスマートフォンへ変化し、技術の進歩も休まることのない現代から考えれば、やや情報化社会の途中という感は拭えない。しかしだからこそ、日常の問題を技術で解決するだけでなく、他者への思いやりや時と場に応じた行動や言動の大切さ、法やきまり、権利と義務について話し合い、自分自身とよく向き合い、考えを深め、自身の生活の中での結び付きをとらえられるようにしていく。

以上のことから、本主題を設定した。

## 4 学習指導過程

| 段階                  | 学習活動と主な発問   | 予想される生徒の反応   | ・指導上の留意点<br>◇評価の視点                                     |
|---------------------|---|--|--|
| 導入                  | 1 教材への導入を図る。<br>・世界の住みやすい都市ランキングが発表されたが、どこの国の都市が上位か考える。   | ・アメリカ ・日本<br>・北欧                                   | ・教材の内容に興味や関心をもたせる。                                     |
| <b>みんなが住みよい社会とは</b> |   |  |  |
| 展開                  | 2 教材を読んで考えを深める。<br><br>(1) 現在、Wi-Fi の利用でメールやラインはできるようになっているが、通話は「他のお客様の迷惑になりますので、通話はお控えください。」とアナウンスがある、どうしてか。<br><br>(2) 技術が進歩すれば“住みよい社 | ・うるさくなってしまう。<br>・周りに嫌な思いをさせる。<br><br>・技術が進歩したら便利にな | ・アナウンス内容を想像させる。<br>・現代の技術の進歩を確認する。<br><br>・自分の考えをワークシー |

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>会”になるのか、考えてみよう。</p> <p>(補助発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術が進歩すれば便利になるか。</li> <li>・便利=住みよい社会なのか。</li> </ul>        | <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーや気遣いができなければ住みよい社会にはならない。</li> <li>・新技術ができて使う人のマナーが大切。</li> </ul> <p>・進歩より人を思いやれるか、相手の立場に立てるかだと思ふ。</p>  | <p>トにまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短冊に書かせ、黒板に貼り、全員で共有する。</li> <li>・もう一度考えを書かせ、深めさせる。</li> </ul> <div data-bbox="906 546 1417 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんの意見の△△に共感しました。理由は□□だからです。</li> <li>・〇〇さんの意見に質問です。なぜ相手の立場に立つことが大切と考えたのですか。</li> </ul> </div> |
| <p>(3) “住みよい社会”にするには、技術の進歩に加えて何が必要なのだろう。</p> <p>(補助発問 (深める))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそれらのキーワードが大切なのか。</li> </ul> | <p><u>キーワード例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの気持ち</li> <li>・愛</li> <li>・他者を尊重すること</li> <li>・真面目さ</li> <li>・人への気遣いやマナー</li> <li>・感謝</li> <li>・技術に見合った使う人のマナー</li> <li>・時、場所、場面を意識した行動</li> <li>・リスペクトアザース</li> <li>・相手を尊重すべきだから</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の考えを付箋(ワークシート)に記入させる。</li> <li>・4人グループで、付箋を模造紙に貼り、考えを共有する。</li> <li>・グループでの考えを元にキーワード3つにまとめさせる。</li> <li>・模造紙を黒板に貼り、発表させる。</li> <li>・全体共有後、もう一度考えさせる。</li> <li>◇マナーや相手の立場にたった行動について、他者の様々な意見をもとに、自己の考えを多角的に捉え考えている。</li> </ul>  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お互いが気持ちよく生活するためのマナーについて自分と結び付けて考えてみよう</p> </div>                               |   |   |
| <p>3 本時の学習課題について、自分の考えをまとめる。</p> <p><u>自分に+1</u></p> <p>お互いが気持ちよく生活するためのマナーについて自分と結び付けて考えてみよう。</p>                                     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の考えをワークシートに記入させる。</li> <li>◇マナーや礼儀の意義について、自分の言葉で表現し、考えを深めている。</li> </ul>  |

|        |  |  |   |
|--------|--|--|---|
| 終<br>末 | <p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説話を聞く。</li> <li>・振り返りシートを記入する。</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の道徳の授業の振り返りを記入させる。</li> </ul> |
|--------|--|--|---|

## 5 他の教育活動との関連

|        |  |
|--------|--|
| 事前指導   | 他者の考えを尊重する姿勢について、学級活動を通して理解を深めておく。                       |
| 道徳科    | 礼儀は相手を人間として尊重する行為であることを理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。    |
| 事後指導   | 道徳コーナーに生徒の考えを掲示する。<br>道徳科の授業の振り返りを学級通信で紹介し、意見の交換を図る。     |
| 家庭との連携 | 本時の内容や授業の様子等（振り返り・感想）を学級通信で紹介し、家庭においても、マナーや礼儀について話題にしよう。 |

## 6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・マナーや相手の立場に立った行動について、他者の様々な意見をもとに、自己の考えを多角的に捉え考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・マナーや礼儀の意義について、自分との関わりで考えている。

## 7 板書計画

お互いが気持ちよく生活するためのマナーについて自分と結び付けて考えてみよう

|  |     |  |
|--|-----|--|
|  | 模造紙 |  |
|  |     |  |
|  |     |  |

「住みよい社会」にするには、技術の進歩に加えて何が必要なのだろう

マナーは考えなくていいのか

イラスト

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |

生徒の考えを貼る

技術が進歩すれば「住みよい社会」になるのか

みんなが住みよい社会とは

「〜ので、通話はお控えください」とアナウンスがあるのはどうしてか

## 教材名「マナーは考えなくていいのか」

☆技術が進歩すれば、住みよい社会になるのか考えてみよう

| <u>自分の考え・理由</u> | <u>友達の考えに対して</u> |
|-----------------|------------------|
|                 |                  |
|                 |                  |
|                 |                  |
|                 |                  |
|                 |                  |
|                 |                  |
|                 |                  |

☆住みよい社会にするには、技術の進歩に加えて何が必要なのだろう？

付箋に書いてみよう



### 自分に+1

☆お互いが気持ちよく生活するためのマナーについて自分と結び付けて考えてみよう

---

---

---

---